



ラオス国立大学 (NUOL)
文学部日本語学科
オーラタイ ケオドアンシー
Olathay Keodouangsy

<参加した留学プログラム>
明治大学情報コミュニケーション学部による
「2016年度アセアン短期学生交流プログラム」

1. いつ日本語を勉強し始めましたか？

私は大学一年生の時に勉強を始めました。

2. なぜ日本へ行こうと思いましたか？

日本は色々な分野で発展をしているので、誰でも日本に行きたいです。そして、私は日本に行って、日本人と勉強し、毎日日本語を使ったら、日本語がどんどん上手になると思いました。また、私は他の人から聞いていた日本がどんな国なのか知りたかったです。それに、今回日本に行くことで、もっと日本語を勉強しようという気持ちを持てると思いました。

3. なぜ明治大学のプログラムに参加しようと思いましたか？

明治大学は大きい大学で、そして以前にこのプログラムに参加した人から、いい経験になると言われました。それに、私はこのプログラムに参加したら、日本について知ることができると思いました。私の将来にも絶対に役に立ちます。

4. 明治大学のプログラムで、印象に残っていることはどんなことですか？

今回、日本に来たのは初めてです。このプログラムに参加する前、私は日本語を話すことがあまり上手じゃありませんでした。だから、今回、日本に来たのは日本語の練習に役に立ちました。そして、日本に来た時、三週間毎日、日本語を使うチャンスがありましたから、どんどん上手になり、それに授業の時に留学生と日本人の皆さんと意見交換できる機会がありました。私にとって毎日のプログラムはとても楽しかったです。

5. このプログラムで学んだことは何ですか。また、将来役にたつことがありますか？

三週間、日本にいたことで、いろいろなことを学習しました。将来卒業した後、私は教師になりたいと思いますから、今回の経験は日本人と仕事をする時に絶対役に立ちます。

6. このプログラムの中で推薦できるいい点は何ですか？

プログラムの中の各活動に参加して、とても楽しかった。それに、日本文化を勉強したり、日本語を練習したり、有名な場所に見学したりしました。新しい友達と出会えて、いい経験ができた。

7. 将来、どんな仕事をしようと思いますか。

日本語の教師になりたいと思います。

8. 東京とビエンチャンはどのような点がちがいますか？

ビエンチャンも東京も便利な町で、人口が多いです。でも、東京にはとてもきれいで、どこでも清潔です。そして東京は安全です。それに 東京の人々は時間に気にします。だから、毎朝、通勤時間の時、電車で人が一杯です。

〈この原稿はオーラタイさんご本人が執筆し、明治大学が編集しました〉

MEIJI UNIVERSITY

明治大学情報コミュニケーション学部が実施した 2016 年度アセアン短期学生交流プログラムの詳細については、次のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.meiji.ac.jp/infocom/information/2016/6t5h7p00000lslq1.html>